

栃木県教員育成指標(養護教諭)

とちぎの求める教師像

～自信と誇りをもって子どもたちと向き合える教師～

人間性豊かで信頼される教師
幅広い視野と確かな指導力をもった教師
教育的愛情と使命感をもった教師

	採用時の姿	ステージⅠ (おおむね1年目～5年目)	ステージⅡ (おおむね6年目～10年目)	ステージⅢ (おおむね11年目～19年目)	ステージⅣ (おおむね20年目～)
全体指標	養護教諭としての基礎・基本を理解するとともに、教職生活全体を通して自律的に学び続けようとする強い意志をもっている。	教育活動に必要な基礎的・基本的な知識・技能を身に付けるとともに、同僚や学校医等からの助言等を得ながら職務を遂行している。	教育活動に必要な専門的知識及び実践的指導力を身に付けるとともに、同僚と協働しながら職務を遂行している。	学校の課題解決を目指し、組織を活性化させたり企画力・実践力を発揮したりするなど、ミドルリーダーとして学校運営に積極的に参画している。	教職生活を通して培った経験のもとリーダーシップを発揮し、学校の教育目標の達成を目指して積極的に学校経営を支え続けている。

○保健教育・保健管理に関する指標

	採用時の姿	ステージⅠ (おおむね1年目～5年目)	ステージⅡ (おおむね6年目～10年目)	ステージⅢ (おおむね11年目～19年目)	ステージⅣ (おおむね20年目～)
保健教育・保健管理全般	保健教育・保健管理の基礎・基本を理解するとともに、教職生活全体を通して自律的に学び続けようとする強い意志をもっている。	保健教育・保健管理の基礎・基本を身に付けるとともに、児童生徒の実態を捉え、同僚からの助言等を得ながら、指導の工夫・改善を図っている。	研修会等への参加、同僚との情報交換やコミュニケーションを通して、効果的な保健教育・保健管理の工夫・改善を図っている。	児童生徒の心身の健康の保持増進及び健康課題の解決に当たって組織的に対応し、他の教職員や医療機関、保護者等と協働して効果的な解決を図るコーディネーターの役割を果たしている。	保健室経営等で培った経験を生かして、学校保健の推進と学校全体の活動に関する調整にリーダーシップを発揮している。
保健教育	保健教育の基礎・基本を理解している。	健康問題の解決に向けて、保健教育の基礎・基本を身に付けて、保健教育を適切に行っている。	学校や児童生徒の実態に応じ、効果的な保健教育を行うとともに工夫・改善を図っている。	児童生徒が、自らの心身の健康問題を発見し、対応できるような系統性のある保健教育を行うとともに、工夫・改善を図っている。	リーダーシップを発揮しながら近隣の学校等と連携し、地域レベルでの健康づくりを推進している。
健康診断・健康相談	健康診断・健康相談の基礎・基本を理解している。	健康診断の実施と事後措置や健康相談等を適切に行っている。	児童生徒のこれまでの経過を踏まえた健康相談等を行っている。	健康診断の結果や健康相談の機会等を活用し、校内組織を生かした健康管理に積極的に取り組んでいる。	校内支援体制の推進の役割を意識した健康管理に積極的に取り組んでいる。
学校環境衛生管理と感染症対策	学校環境衛生管理と感染症対策の基礎・基本を理解している。	学校環境衛生管理と感染症の予防と発生時の対応について、管理職や医療機関等と連携し、的確な措置を行っている。		専門的知識を深めるとともに、的確な予防措置を講じている。	情報の収集や環境の変化の把握を迅速に行い、学校でのリーダーシップを発揮するとともに、的確な措置を行っている。
救急処置	救急処置の基礎・基本及び救急体制の整備の大切さを理解している。	救急処置の基礎・基本を身に付けるとともに、的確な判断の下に、同僚と連携して業務を適切に行っている。		校内研修等において、指導的役割を果たすとともに、救急体制について共通理解を図り、組織を生かして活動している。	

○児童・生徒指導に関する指標

	採用時の姿	ステージⅠ (おおむね1年目～5年目)	ステージⅡ (おおむね6年目～10年目)	ステージⅢ (おおむね11年目～19年目)	ステージⅣ (おおむね20年目～)
児童・生徒指導全般	児童・生徒指導の基礎・基本を理解しているとともに、指導力の向上を目指して学び続けようとする強い意志をもっている。	児童・生徒指導の基礎・基本を身に付けるとともに、児童生徒の実態を捉え、同僚からの助言等を得ながら、指導の工夫・改善を図っている。	指導資料の活用や研修会等への参加、同僚との情報交換やコミュニケーションを通して、指導の工夫・改善を図っている。	児童・生徒指導上の課題解決に向けた対策を積極的に提案するとともに、教職員間の連絡・調整及び実践において、中心的な役割を果たしている。	若手・中堅教員等に児童・生徒指導の範を示すとともに、課題解決に向け、指導計画の見直しや関係機関等との連携等にリーダーシップを発揮しながら組織的に取り組んでいる。
児童生徒との信頼関係の構築	児童・生徒指導における児童生徒理解と信頼関係づくりの大切さを理解している。	日常的な関わりや同僚からの情報を得ながら、児童生徒の性格や心身の状況等について理解に努めている。	同僚と積極的に情報交換を行うなどして、児童生徒の多面的・多角的な理解に努めている。	児童生徒一人一人に関する様々な情報を学年や学校全体で共有できるように、教職員間の連絡・調整に当たっている。	児童生徒理解に関する専門的な知識を身に付け、同僚への支援・助言を行っている。
	信頼関係づくり・教育相談	カウンセリングマインドをもって児童生徒一人一人に共感的、受容的に接し、信頼関係の構築に努めている。	研修等を通して教育相談の基本を学び、児童生徒の相談を受け止め、適切に対応することにより、信頼関係を築いている。	児童生徒の悩み等を的確に把握し、問題解決に向けて同僚と協働しながら対応している。	児童生徒への教員の関わり方を観察し、教育相談の活用や、信頼関係づくりの具体的な方策等について、支援・助言を行っている。
児童生徒への指導・援助	発達支持的児童・生徒指導	児童・生徒指導の意義とともに、いじめ、不登校等への対応の基本について理解している。	学級担任や家庭との連携を図りながら、組織的に児童・生徒指導を行っている。	児童生徒の健康課題を的確に捉えるとともに、同僚と協働しながら指導している。	児童生徒の健康課題を予防的な視点で捉え、関係機関等と連携しながら指導している。
	問題行動等への対応	組織的な対応の重要性を理解するとともに、日頃から児童生徒の様子を観察し、問題行動等の未然防止、早期発見、迅速な対応に努めている。	健康相談等を生かして、児童生徒の状況や内面を理解するとともに、同僚と協働しながら対応している。	専門性を生かし、関係機関等と連携のためのコーディネーター的な役割を果たしている。	問題行動等への対応に関して、組織的な対応を進めるとともに、同僚に専門性を生かした支援、助言を行っている。
	専門的な知識・技能を生かした指導	心身の健康問題に関して専門性を生かして、担任や家庭等へ情報提供を行っている。		心身の健康問題に関する専門的な知識や技能を生かし、組織的に課題解決にあたっている。	
特別な配慮や支援を必要とする児童生徒への対応	児童生徒の実態に応じた配慮や支援、組織的な対応の必要性について理解している。	児童生徒の実態に応じた配慮や支援についての基礎的知識を身に付け、同僚からの助言等を得ながら指導・支援を行っている。	児童生徒の実態に応じた配慮や支援について深く理解し、同僚と協働しながら指導・支援を行っている。	児童生徒の実態に応じた配慮や支援についての学校の課題を把握し、解決に向けた組織的対応の中心的役割を担っている。	児童生徒の実態に応じた配慮や支援について、組織的対応の中心的役割を担うとともに、同僚への適切な支援・助言を行っている。

○参画・経営に関する指標

	採用時の姿	ステージⅠ (おおむね1年目～5年目)	ステージⅡ (おおむね6年目～10年目)	ステージⅢ (おおむね11年目～19年目)	ステージⅣ (おおむね20年目～)
参画・経営全般	組織の一員として役割を果たそうとする強い意志をもっている。	「報告・連絡・相談」を確実に実行するとともに、同僚からの助言等を得ながら、保健室経営に当たっている。	社会の変化に目を向け、広い視野をもつとともに、同僚と協働しながら、保健室経営の見直し等を図っている。	学校経営方針を理解し、学校・家庭・地域の連携をもとに推進することにより保健室経営を学校運営の視点に立って取り組んでいる。	児童生徒の健康づくりを効果的に推進するため、学校保健活動の中核的な役割を果たしている。
校務分掌への取組	校務の一端を担い、組織の一員として働くことの大切さを理解している。	担当する校務分掌について、同僚からの助言等を得ながら、迅速・正確な処理をしている。	担当する校務分掌について、同僚と協働しながら、工夫・改善を図っている。	校務分掌について、工夫や改善をするとともに、広い視野に立って校務に当たっている。	学校全体の組織を把握するとともに、学校保健活動の中心となってリーダーシップを発揮している。
ICTや情報・教育データの活用	ICTや情報・教育データの活用の意義、校務等における活用方法を理解している。	ICTや教育データに関する基本的な知識を身に付け、同僚からの助言等を得ながら、業務改善を意識して、校務にICTを活用している。	ICTを効果的に活用し、業務改善を踏まえて、同僚と協働しながら、校務の効率化に取り組んでいる。	校務分掌について、業務改善の視点から、ICTを活用して工夫や改善を行っている。	学校全体の組織を把握するとともに、ICTを活用して、学校保健活動の中心となってリーダーシップを発揮している。
保健室経営	保健室経営の基礎・基本を理解している。	同僚の助言等を得ながら保健室経営計画を作成し、計画に基づいた保健室経営を行っている。	児童生徒の健康状況等を踏まえた保健室経営を行うとともに、工夫・改善を図っている。	学校経営上の課題を把握し、健康課題等の解決を目指して、家庭や地域と連携しながら組織的な保健室経営を行っている。	
学校経営への参画	組織の一員として、組織的に対応することの大切さを理解している。	「報告・連絡・相談」を確実に実行しながら、校内組織での自らの役割を果たしている。	学校経営方針を理解し、同僚と協働しながら、校務に組織的に取り組んでいる。	学校組織マネジメント、カリキュラム・マネジメントについて理解し、学校の教育目標の達成、学校経営上の課題の解決のために積極的に取り組んでいる。	学校の教育目標の達成や学校経営上の課題の解決に向けた組織体制づくりにリーダーシップを発揮しているとともに、同僚への支援・助言を積極的に行っている。
日常の教育活動における安全確保	全ての教育活動の基盤となる安全確保の重要性について理解している。	同僚からの助言等を得ながら、教育環境、教育活動の安全確認に努めている。	学校の安全計画を理解し、同僚と協働しながら確実な実施に努めている。	安全担当者等と協働しながら、事故の未然防止に努めるとともに、安全上の課題の把握に努め、その解消に速やかに取り組んでいる。	日頃より事故の未然防止に努めるとともに、事故発生を想定した具体的な対応について、同僚と十分に共通理解を図り、支援・助言を行っている。
家庭・地域・関係機関等との連携	家庭・地域・関係機関等と情報を共有することの大切さを理解している。	学校保健活動についての理解を促すために、情報を提供している。	学校保健活動についての理解を促すために、情報を提供し、家庭や地域等と連携・協力しながら、校務を処理している。	地域とともにある学校づくりに向け、学校保健活動の改善・充実を図っている。	学校の教育目標の達成を目指し、家庭・地域・関係機関等と連携・協力をし、学校保健活動の改善・充実をしている。

○意欲・態度に関する指標

		採用時の姿	ステージⅠ～ステージⅣ
教育的愛情・熱意	教育的愛情	教育的愛情と使命感をもった教師になるという強い意志をもっている。	児童生徒に教育的愛情をもって接している。
	信念、熱意		正しい信念のもと、熱意と使命感をもって仕事に取り組んでいる。
	人権尊重の精神		人権尊重の視点を重視し教育活動を行っている。
誠実・品位、公正、法令の遵守等	誠実・品位		礼儀正しい態度で誠実に仕事に取り組んでいる。
	公正		偏りがない見方・考え方で公正に勤務している。
	法令の遵守		職務・勤務の在り方を自覚し、厳正に勤務している。
責任感・寛容性・協調性等	責任感		責任をもって職務を遂行している。
	寛容性		異なる意見・立場を尊重し、職務にあたっている。
	協調性		同僚と協調して職務にあたっている。
研修に対する意欲			自己の能力向上のために、研究と修養に取り組んでいる。